



いの町長 塩田 始

新年明けましておめでとうござい  
ます。

輝かしい新春をお迎えのこととお喜  
び申し上げますとともに、皆様には、  
日ごろから町政全般に対し、ご理解・  
ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
新政権の発足後、様々な政策が抜本  
的に見直され、地方行政への影響も懸  
念されております。町としましては、  
今後も国の動向を注視しながら、地方  
の意見が反映されるよう県及び各市町  
村と連携に努めてまいりたいと考えて  
いるところです。

さて、昨年は高知県が産業振興計画  
を策定し、この計画を実行元年と位置  
づけ、県勢浮揚に向けた様々な取組が  
始まりました。また町が取り組むべき  
15項目の施策につきましても、関係団  
体が連携し取組が進められています。

仁淀病院につきましては、平成23年  
3月の新病院棟完成に向け、11月に改  
築工事に着手しております。

音竹水源地から鎌田への新水源地へ  
の移転につきましては、鎌田地区の水  
源地施設の4工事を発注し、その他の  
工事につきましても順次発注していく  
こととしています。

また、慢性的な交通渋滞対策とし  
て、高知西バイパスの早期実現に向け  
た要望やその周辺整備、南海大地震、  
台風等を想定した防災対策の促進、健  
康福祉・保険の計画策定・推進、子育て  
環境の充実などにも取り組みました。

今年、これらの取組のほか、引き  
続き行政改革大綱等に基づき、住民  
サービスを下底させることなく、簡素  
で効率的な組織・機構とするための機  
構改革の実施、老朽化している本庁舎  
につきましても、平成26年度末の完成  
に向けて検討委員会（仮称）を立ち上  
げ、建設に向けて様々な角度から検討  
をしていく予定です。

今後も一層厳しい財政状況ではあり  
ますが、町民の皆様の生活を守りなが  
ら、町の発展につながる事業を実施  
し、より住みよいまちづくりを進めて  
まいりたいと考えています。

最後になりましたが、皆様のますま  
すのご健康とご多幸を祈念いたしまし  
て、私からの新年の挨拶とさせていただきます。



いの町議会議長 土居 豊榮

新年おめでとうございます。皆様に  
は、ご家族お揃いで新春をお迎えのこ  
ととお喜び申し上げます。

昨年は国政選挙で民主党が過半数を  
制して、戦後50余年の政権政党が交代  
しました。

顧みますと所得倍増計画の昭和30年  
代から列島改造論や貿易と経済の発展  
に伴い、国土の開発が進み社会資本の  
投下による新幹線の開通や高速道路の  
整備で、本州と四国は近くなり結ばれ  
ました。

しかし、四国の主要都市間を高規格  
道路で連絡する8の字ネットワークは  
いまだに結ばれず、高知県の脊髄であ  
る国道439号も町内では工事中です。

一方、国道33号の新仁淀川橋（仮）  
は姿を見せ、高知南環状線の宇治川橋  
も架かりました。町民は心より鎌田取  
水地からの清新な水道水の供給と高知  
南環状線の開通及び高知西バイパスの  
早期供用を待ち望んでおります。

そんな矢先、新政権は公共工事の見  
直しを発表されました。町内には、救  
急車が近づけない山間部や仁淀川の増  
水時には浸水する沿線の住宅が多数存  
在し、安心して暮らすにはほど遠いと  
ころがあります。道路網の整備や治水  
事業は安全な生活の根幹であり、産業  
振興・文化興隆の要です。特に国道439  
号の整備は山間部教育の将来への基礎  
であり、森林資源の活用と環境保全事  
業に大きく寄与する要諦です。私ども  
議会は、立ち遅れた地方に援助の手を  
差し伸べ、早期に改善されるよう、町  
と共に強く要望して参ります。

仁淀病院の建設工事は進んでおりま  
す。また、役場庁舎の建設計画は今年  
中に始動しなくてはなりません。

従って、高知県の産業振興に取り組  
む尾崎県政と地方主権を掲げる国政が  
呼応して、町も塩田町政と議会がまち  
づくりの推進をねばりませぬ。庚  
寅のこの一年が、夢のある政策と愛に  
より確かな歩みと力強い年になること  
を念じ、あわせて皆様方のますますの  
ご健康とご多幸を心から祈念いたしま  
す。